

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年9月15日

喫煙量が多いほど新型コロナが重症化していた

【松崎雑感】

しつこいようですが、タバコを吸うと新型コロナに感染しやすくなり、重要化しやすくなります。なぜたびたびコロナとタバコの間関係を論ずるか、それは、疫学調査の初歩的な間違いのために、新型コロナ感染者の喫煙者が少ないという結果が、タバコ産業派の学者によって喧伝されているからです。言うまでもなく、空気が汚染されているほど新型コロナに感染しやすいわけで、「喫煙室」は新型コロナ感染パーティの場になっています。喫煙者はワクチン免疫が十分に付かないという情報もあります。命あつての物種、先ず禁煙しましょう！加熱式タバコ、電子タバコも例外ではありません。

喫煙量が多いほど新型コロナが重症化していた

Mahabee-Gittens EM (Division of Emergency Medicine, Cincinnati Children's Hospital Medical Center), Mendy A, Merianos AL. **Assessment of Severe COVID-19 Outcomes Using Measures of Smoking Status and Smoking Intensity.** *Int J Environ Res Public Health*. 2021 Aug 25;18(17):8939. doi: 10.3390/ijerph18178939. PMID: 34501529.

目的

喫煙と新型コロナ重症化の関連を明らかにするうえで、単に喫煙の有無だけを指標にするだけでは、喫煙量、喫煙年数の影響が反映されない。1日あたり喫煙量、喫煙年数、喫煙箱年(パック・イヤーズ)と新型コロナに感染した成人の重症化との関連を検討した。

方法

シンシナティ大学ヘルスケアシステムで2020年3～9月に診断された新型コロナ患者の喫煙関連指標、予後、人口統計学的指標、基礎疾患などを後顧的に収集し解析した。入院、ICU管理、死亡を重症化の定義とした。

結果(次スライド参照)

4611名の患者中現在喫煙者が18.2%、過去喫煙者が20.7%だった。

入院28.9%、ICU管理9.8%、死亡1.4%。

入院オッズ比は、現在喫煙者で1.23(1.02~1.49)、過去喫煙者で1.28(1.07~1.54)、喫煙量(10パック・イヤーズ増加毎)で1.09(1.07~1.17)有意に高かった。

喫煙量(1日1箱毎)が多いほど入院(AOR: 1.30, 95% CI: 1.10-1.53)とICU管理(AOR: 1.23, 95% CI: 1.04-1.44)が増加した。

結論

現在および過去喫煙、喫煙量が入院リスクを有意に高めていた。

喫煙本数が多いほどICU管理が増加していた。喫煙習慣の有無だけでなく、喫煙量、喫煙期間などの情報を収集することが、新型コロナウイルス感染者の予後を判断するうえで重要である。

